



小さいときの親友
荻島博さん(本町・31歳)

たけしくんとは幼なじみで、今でも柳川に帰ってきたときは電話をくれます。小さいころはけんかが強かったですよ。今はいつもお客さんに対してニコニコでファンを大事にしています。有名になっても気楽に話せるたけしくんでほしいし、心からおめでとうという気持ちでいっぱいです。将来、師匠を超えるビッグスターになってほしいですね。



市内レコード店勤務
上野千代子さん(筑紫町・54歳)

たけしくんは、小さいころからよくお父さんと一緒にレコードを買いにみえていました。無邪気でまじめな子供さんでした。デビューは決して早いほうではないけど、「片道切符」はたけしくんにぴったりのいい歌で、新曲の「男の出船」も皆さんにぜひ聞いてもらいたいですね。たけしくんは柳川の誇りです。これからも長く歌ってもらいたいし、地元から応援してますよ。



昨年12月、沖端での日本有線大賞新人賞受賞のテレビ中継。約800人の聴衆を前に「片道切符」を熱唱しました。北山さんの左が父・英気さんです

北山さんと会うことさえできま
せんでした。友達に見栄を切っ
て柳川を後にした手前、帰るこ
とはできず、北九州や大分でい
ろいろアルバイトをしながら生
活しました。
21歳になって再び上京し、北
島三郎さんの門をたたきます
が、また門前払い。しかし北山
さんはあきらめず10日間通いつ
めて、ようやく弟子入りを許し
てもらいます。「運もよかった
と思います。これが師匠との初
めての出会いです」と話します。

弟子入りして3年ぐらいたっ
て、ようやく北山さんは師匠の
地方公演に「付き人」としてつ
いて行くようになります。
「歌は見てぬすめ」というの
が師匠の言葉。唯一の練習は師
匠がステージで歌う舞台のそで
から、一緒に大声で歌うことで
した。年に1、2回はコンサート
のりハーサルで師匠の代わり
に歌わせてもらうときがありま
した。「本当に歌手になったよ
うでうれしかった」と振り返り
ます。

弟子生活8年目を迎えたと
き、北山さんは北島さんから
「歌謡界という海は今荒れて
いない。漕ぎ出すなら今がチャ
ンスだ。一人で漕いでみるか」
と尋ねられます。北山さんは力
強く「漕がせてください」と答
えたそうです。そして昨年、デ
ビューを果たします。芸名は師
匠・北島三郎さんの「北」と兄
弟子の山本譲二さんの「山」か
らもらいました。
デビュー曲の「片道切符」は、
北島三郎さんが作詞作曲。「師
匠が夢を求めて、北海道から上
京した思いに気持ちをだぶらせ
て書き上げた、人生の応援歌で
す。無理をせず、背伸びをせず、
ストレートに歌える歌です」と
北山さん。

昨年、北山さんはこの歌で日
本レコード大賞と日本有線大賞
の新人賞、ベストヒット新人賞
を受賞。CDの売り上げも20万
枚を突破し、今年3月、歌手と
して名誉ある日本ゴールドデ
ィスク大賞を受賞しました。
「師匠の偉大さ、スタッフ、
地元の皆さんに背中を押されて
とれた賞です。これからも地元
ファンの皆さんをはじめ、たく
さんの人の力を借りて、地面に
しっかりと足をつけ、みなさんと
ともに歩いていきたい」と北山
さんは話します。

出した北山丸が、無事航海でき
るように我が子を思う心で作ら
れた歌だそうです。
柳川のすばらしさを
全国に伝えたい
北山さんの今年の目標は「年
末、皆さんと笑顔で年をこせる
ようになること。そして師匠を
目標にがんばっていきたい」と
話します。
「歌を通じて柳川のすばらし
さを全国にアピールしていきたい」と抱負を語る北山さん。
「故郷の人たちが、さすが北山た
けし」と自慢できるようなになる
ためにがんばります。柳川とい
えば北山。北山といえば柳川と
言われるようになりたい」と力
強く話しました。



柳川市観光大使(16人目)に本市出身の 演歌歌手 北山たけしさん

市の観光大使に、本市出身の演歌
歌手、北山たけしさん(31歳)
が任命されました。5月26日に市役
所柳川庁舎で行われた観光大使の委
嘱状交付式では、北島三郎さんの夫
人、大野雅子さん(北島音楽事務所
社長)も同席。石田市長は「柳川の
よさを全国津々浦々に伝えてくださ
い」と委嘱状を渡し激励しました。
観光大使は、市のイメージを高め、
観光に関する意見や提言を聞くため、
平成14年から設置され、映画監督の
大林宣彦さんや高畑勲さん、声楽家
の高山佳子さんなど15人が任命され、
北山さんが16人目となりました。



観光大使の委嘱状を石田市長から受け取る
北山たけしさん

あこがれの歌手
北島三郎さんのもとで
8年間の弟子生活

北山たけし。本名渡辺毅さ
んは昭和49年、久留米市に生ま
れ、5歳のとき柳川市の隅町に
引っ越して来ます。音楽を志し
ていた父、英気さん(58歳)の
影響で、4歳のころから演歌を
聞きながら育ちます。
子供ながらに北島三郎さんの
ファンになり、8歳で「風雪な
がれ旅」を覚え、数々のちびっ
子のど自慢やコンテストで優勝
を飾ります。小学6年生のとき
は、古賀政男記念大川音楽祭で
大人に交じり一般歌謡の部門
で、北島さんの「まつり」を歌
い、最優秀賞を受賞します。
柳川中学を卒業し、柳川商業
高校に入学。学校での生活は楽
しかったけれども「早く歌手に
なりたい」との思いから、1年
生の卒業式を終えて自主退学。
その後すぐ上京し、北島三郎さ
んの門をたたきます。しかし未
成年ということで、門前払い。